基本理念

# 山国川水系の河川整備の基本理念

~山国川水系の川づくりの方向性~

## 「子供たちに繋ごう!耶馬渓・山国川のくらしと自然」

■川づくりのテーマ

- ●生命・財産を守る川づくりを維持する。
- ●地域と一体となった防災・減災を目指す。

●水の恵みと生命育む流れを守り伝える。

- ●山国川固有の生命を育む水辺環境を守り伝える。 ●名勝耶馬渓等の歴史・文化・景観を守り伝える。
- 県境や上下流を繋ぐ利用環境を目指す。

※山国川水系河川整備計画の対象期間は概ね30年、対象区間は国管理区間とします。ただし、流域の社会情勢、自然環境、河道状況の変化により 必要に応じて計画の見直しを行います。

### 流域の概要

## ご存知ですか? 山国川ってどんな川…

# 流域の約8割が国定公園、名勝耶馬渓

流域は、大分県と福岡県の境に位置し、流域の約8割は観光産業の重要な 要素となる耶馬日田英彦山国定公園及び名勝耶馬渓に指定されています。

流 域 面 積:540km<sup>2</sup> 幹川流路延長:56km

流域内人口:約3万6千人

流域内市町村:中津市、日田市、宇佐市

吉富町、上毛町、玖珠町

#### ■山国川流域図









山国川、中津川河口部



## 山国川流域の概要

### 上流域が多雨、台風性降雨も多い

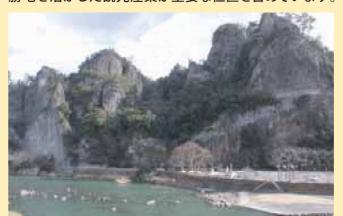
上流域では全国平均以上の雨が降っており、その多く は梅雨性の雨及び台風性の雨によるものです。



#### ■平均年降水量 の分布 (mm)

## 景勝地を活かした観光産業が重要

山国川流域は、「競秀峰」「青の洞門」「深耶馬渓」等の景 勝地を活かした観光産業が重要な位置を占めています



毎年多くの観光客が訪れる競秀峰(青の洞門)

### 臨海部は工業地帯

流域内の産業は第3次産業の占める割合が大きくなっ てきており、中津市臨海部は自動車製造などの工業地 帯となっています。

#### ■山国川流域の就労人口の推移



#### 山国川の主な洪水

洪 水 年	主な被害状況
明治26年 10月13 ~ 15日 (台風2号)	死者27名、負傷者48名 浸水家屋5,100戸
大正7年 7月12日 (台風5号)	死者·行方不明者10名 床上浸水104戸、床下浸水298戸
昭和19年 9月16~17日 (台風16号)	浸水家屋:約7,800戸 浸水面積:約1,600 ha
昭和28年 6月25~29日 (梅雨前線)	死者•行方不明者1名 床上浸水605戸、床下浸水3,196戸
平成5年 9月2~4日 (台風13号)	床上浸水99戸、床下浸水139戸 浸水面積:約27ha
平成19年 8月2~3日 (台風5号)	床上浸水4戸、床下浸水4戸 浸水面積:約0.8ha

※出典:大分県災害誌 ※明治26年10月、大正7年7月の被害状況、下毛郡及び宇佐郡の被害合計値 ※昭和19年9月の被害状況は戦時中で記録がないため、推算した値 ※昭和28年6月の被害状況は、中津市、下毛郡、宇佐郡の被害合計値 ※平成5年9月の被害状況は、中津市、下毛郡の被害合計値(出典:「水害統計」)



昭和19年9月洪水中津市日ノ出町地区 平成19年8月洪水青地区 (出典:中津市歴史民俗資料館)



(出水後の状況)



## 山国川の主な渇水

時其	抈	被 害 の 概 要	
平成6	年	7月~10月にかけて、最大で、水道10%、工業用水30%、農業用水30%の 取水制限を行いました	
平成10	)年	9月に、最大で、水道30%、工業用水40%、農業用水40%の取水制限を行いました 長期の渇水により耶馬渓ダムの貯水率が、一時24%まで下がりました	
平成13	年	8月に、農業用水や水道用水の確保のため、平均で1日当り13.5万m <sup>3</sup> の水を渇水補給しました	
平成14	年	8月〜10月にかけて、最大で、上水道10%、工業用水10%、農業用水30%の 取水制限を行いました 耶馬渓ダムにより81日間で約1,360万㎡の渇水補給を行いました	
平成17	'年	6月~9月にかけて、最大、水道15%、工業用水67%、農業用水40%(一部 改良区を除く)の取水制限を行いました	
平成20	)年	8月に、水道10%、工業用水67%、農業用水30%(一部改良区を除く)の 取水制限を行いました	